

輪島学講習会

【第5回】

『輪島の海女漁について』

<講師>

石川県漁業協同組合輪島支所 部長
上 浜 敏 彦 氏

輪島の海女漁について



石川県漁業協同組合輪島支所
上 浜 敏 彦

「輪島支所の概要」

1. 輪島支所の概要

(H25.3.31日現在)

	組合員数	(正組合員)	(准組合員)	漁船数(隻)	水揚高(億)
JFいしかわ	8,890	(3,245)	(5,645)	5,042	166.4
輪島支所	1,095	(885)	(210)	683	24.1
	12.3%	(27.3%)	(3.7%)	13.5%	14.5%

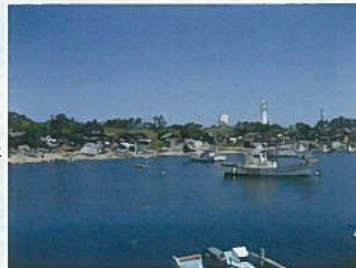
2. 輪島の漁業の特徴

①後継者がたくさんいる……平均年齢50歳前後

②いろんな漁法が行われている

刺網漁業 200隻、底曳網漁業 45隻、はえ縄漁業 50隻
アマダイ漁業 30隻、一本釣り漁業30隻、まき網漁業
定置網漁業、エビ籠漁業、紅ズワイ籠漁業、
サヨリ二艘曳漁業、イカ釣り漁業、海女漁

③海女漁が大変さかん……県内では輪島支所だけ



1. 輪島の海女漁

①海女の数・・・1集落の海女の数では国内最多

(* 海士町地区海女)

H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
235	218	215	223	227	194	187	233	217	215	205	179	195	197	189

②年齢構成 平均年齢50歳代

(* H24 海士町地区海女)

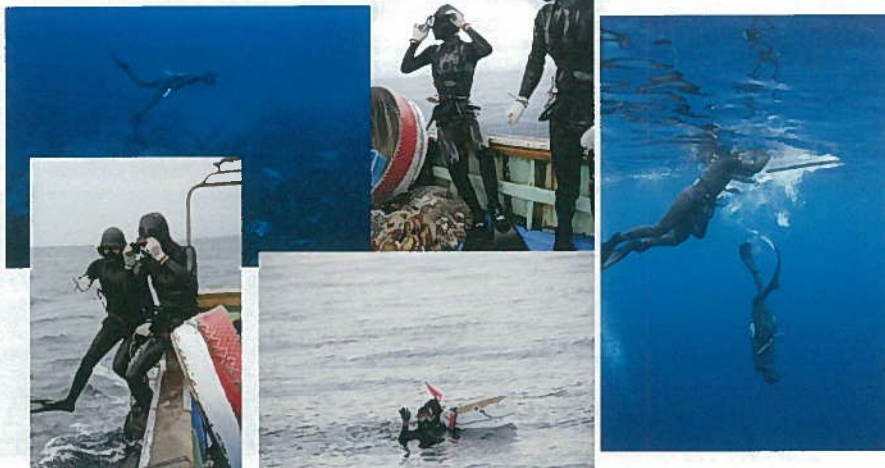
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
2	12	23	38	45	27	31	10	1



③漁期、採取している貝類・海藻類

- 3月～6月 ワカメ
- 4月～6月 岩ガキ
- 7月～9月 アワビ、サザエ、岩モズク、エゴ(寒天原草)
- 11月～4月 ナマコ

海女漁写真



④海女漁の課題

・資源の減少、価格の低迷・・・資料①

⑤対策

㊦休漁日の設定・・・7月～9月の第2、第4土曜日休業

①操業時間短縮・・・1日4時間操業

②禁漁区の設定

③種苗放流・・・資料②

④藻場保全活動・・・資料②

⑤付加価値向上の取組・・・「輪島海女採りブランド」の推進
及び首都圏でのPR販売。

輪島あわびまつりの開催、大手スーパー、消費者との直接取引
一時加工の取組・・・塩蔵ワカメ、塩蔵モズクの加工・販売

輪島海女採りあわび、さざえの商標登録



輪島海女採りあわびタグ



首都圏でのPR販売



あわびまつりの開催



⑥取り組み

㊦海女サミットの開催(10月26日～27日)

北は岩手県から南は長崎県まで、さらに韓国の海女を招集し、海女同士の交流を通して海女の高齢化と地域社会の持続、及び水産資源の確保の観点や自然保護の課題について考える機会を創出する。こうした機会を通じて、能登の里海の代表的な存在である海女文化や輪島の海女採りあわび、さざえを全国に情報発信したい。



⑥取り組み

㊦県、国指定重要無形民俗文化財登録

海女の方々が、引き続き、誇りと生きがいを持って海女漁に従事し、将来の担い手を育成、確保していく事が出来るような取り組みが必要であると考え、今般、石川県と輪島市が協力し、石川県指定重要無形民俗文化財登録を目指すため、基礎調査を進めている。

また、平成28年以降、国無形重要民俗文化財指定を目指し、将来的には三重県と連携して、国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産登録を目指す。

宝の海をいつまでも

～ 舢倉島・七ツ島の海女の文化と磯根資源の管理について～



石川県漁協女性部海士町支部
早瀬千春

舢倉島・七ツ島の概要

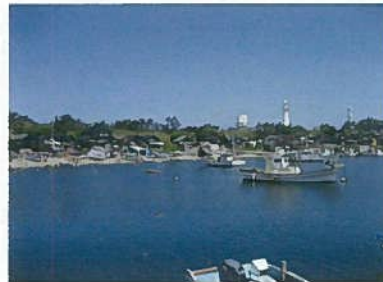
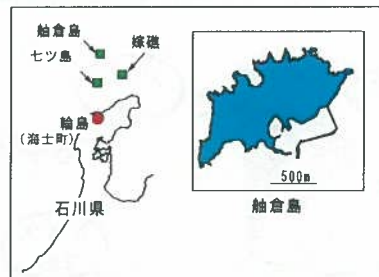
舢倉島

能登半島の北方海上約
48 km に位置する
平坦な島

対馬海流の影響下にあ
り、大陸棚が広がる
好漁場

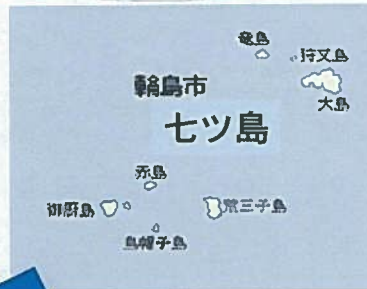
1974年より、定期船が1
日1往復運航

人口は、冬期で約100人、
夏期で約300人



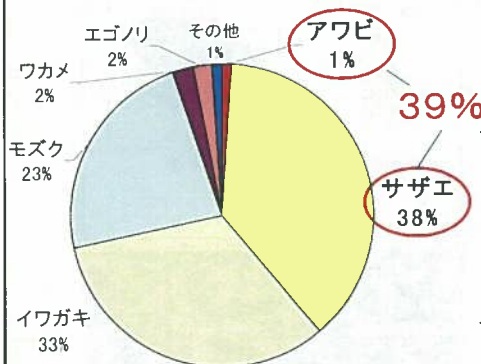
七ツ島

能登半島と舢倉島の
ほぼ中間に位置し、
約5km四方に広がる
7つの小島・岩礁群
現在は無人島である。

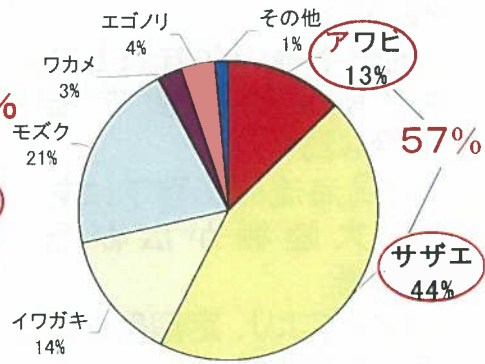


嫁礁(よめぐり)

海女漁における漁獲量と水揚げ金額



漁獲量(H21)
430トン

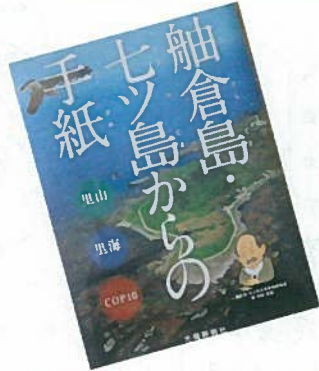


水揚げ金額(H21)
2億4,200万円

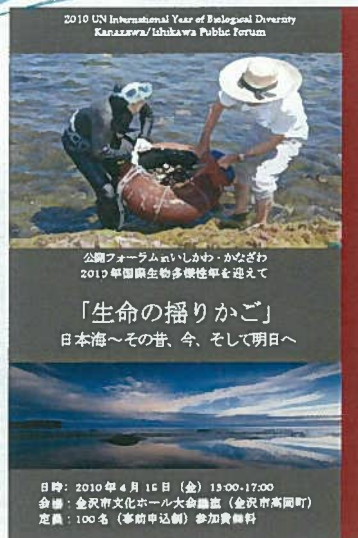
報道・研究機関への調査協力



海女の歴史と文化の情報発信



「舢倉島・七ツ島自然環境調査団」による調査報告書



国連大学高等研究所主催のCOP10関連行事、映像記録

輪島海女の歴史と生活

- ・1569年、福岡県鐘崎から13名の男女らが能登に渡来
- ・春に能登に渡来し、秋に九州に帰る・「西国海士」と呼ばれる。
- ・定着化して人口増加
- ・1649年、のしアワビ献上を機に加賀藩主から土地を拝領 ➡ **海士町開町**



鐘崎と大島海人の枝村

海女漁について

昔は

- ・一斉渡島
海士町民全員が6月初旬に一斉に舩倉島へ渡り、アワビ・サザエを採取。
漁期が終わる10月に本土へ帰る。

昭和30年代後半には姿を消した。



現在は

①舢倉島に定住もしくは
漁期のみ舢倉島に
居住する海女:56人



②海士町に住み、漁期中は
舢倉島・七ツ島・嫁礁に
出漁し、夕方に戻ってくる
「通勤海女」:139人

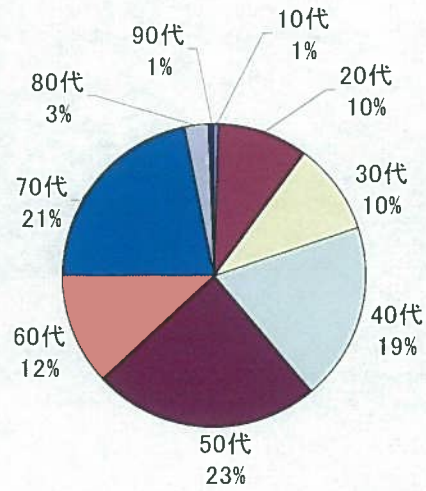


輪島の海女の現状

・舢倉島・七ツ島・嫁礁の
潜水漁に排他的権利

・海士町に生まれた者
または嫁いできた者のみ
海女になれる。

・195名(17~93歳)が
従事



春: ワカメ、イワガキ

夏: アワビ、サザエ、エゴノリ、イシモズク

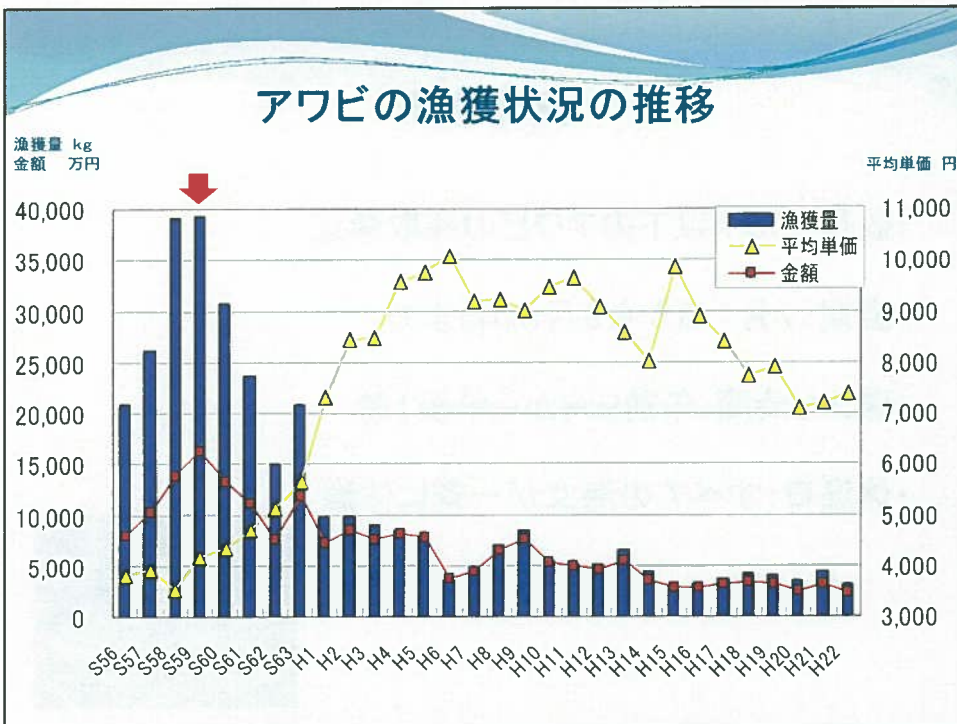
秋: 休漁(10月)

冬: ナマコ、イワノリ

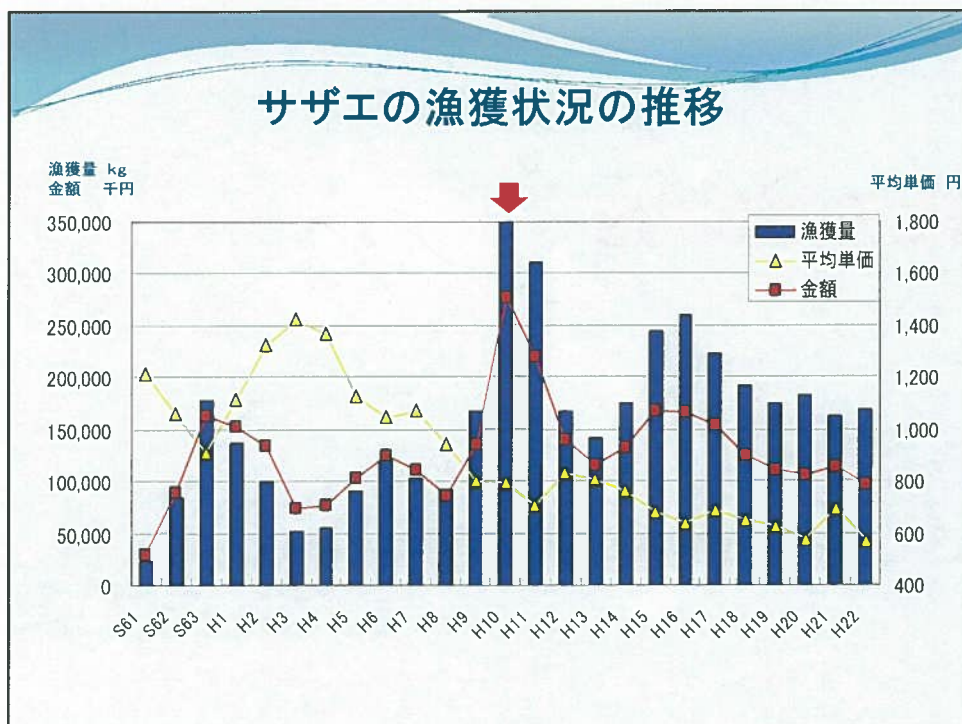
・その他、四季折々の海藻を利用



アワビの漁獲状況の推移

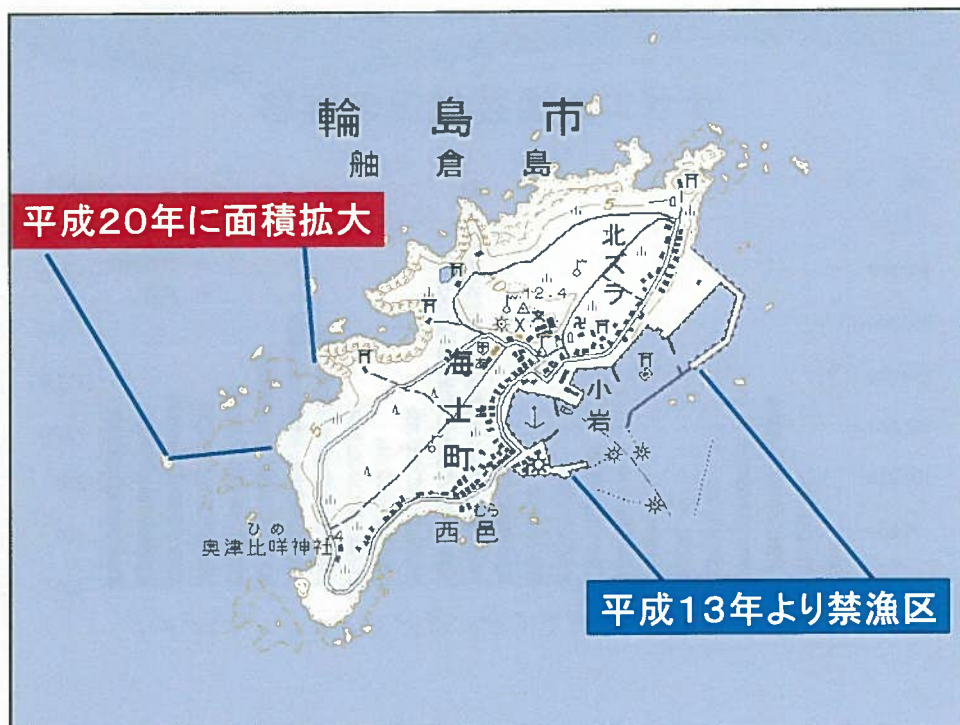


サザエの漁獲状況の推移



資源管理

- ・殻長10cm以下のアワビの採取禁止
- ・漁期: 7月1日から9月30日まで
- ・磯入り時間: 午前9時から午後1時
- ・休漁日: すべての海女が一斉に休漁



アワビ・サザエの種苗放流



アワビ
70,000個(H22)



サザエ
26,700個(H22)



種苗放流



追跡調査

初期減耗の原因：タコやヒトデによる捕食

タコ・ヒトデの駆除活動



タコの駆除



ヒトデの駆除

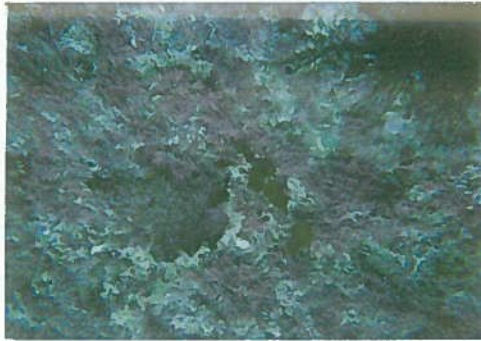
藻場での取り組み



カジメの生えた藻場



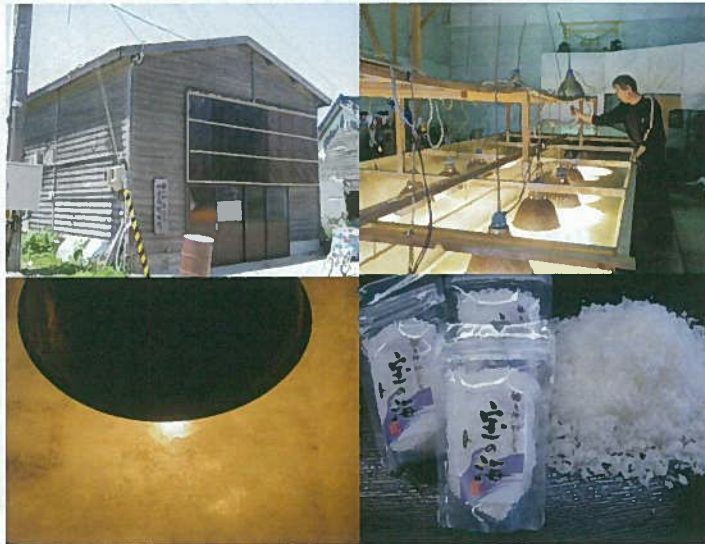
背の高い海藻



刈り取り後に生えたカジメ



加工品の開発・付加価値向上の取組 ・軸倉島沖合の海水を使った天然塩づくり



・天然塩「宝の海」を使った加工品



・「輪島海女採りあわび」「輪島海女採りさざえ」を商標登録

2009年9月に商標登録
 アワビ1個ずつに「輪島海女採り」と記した
 長径2センチほどのだ円形のタグを
 取り付ける。
 サザエには出荷ケースに縦6センチ、
 横15センチのシールを貼る。



舳倉島の海女の暮らし



操業形態の変化



話し合いによる適正な資源管理

舳倉島での清掃活動



海岸清掃だけでなく啓発普及活動も必要

里海の原型・舢倉島を守るために
アワビ・サザエの資源回復
漁獲物の付加価値向上



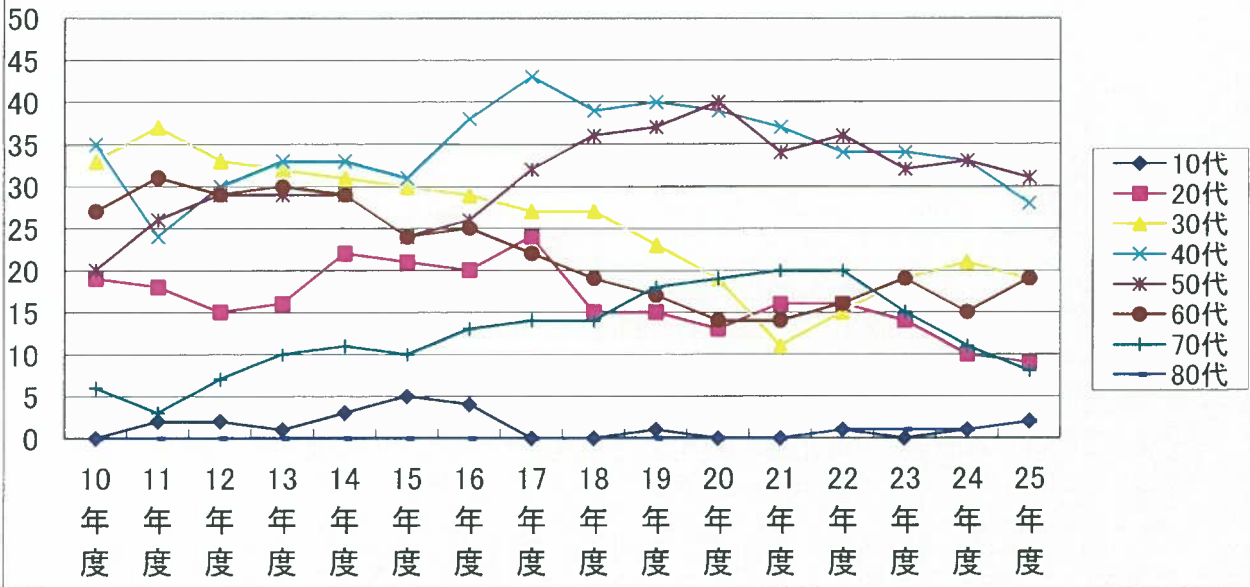
舢倉島の文化の保存



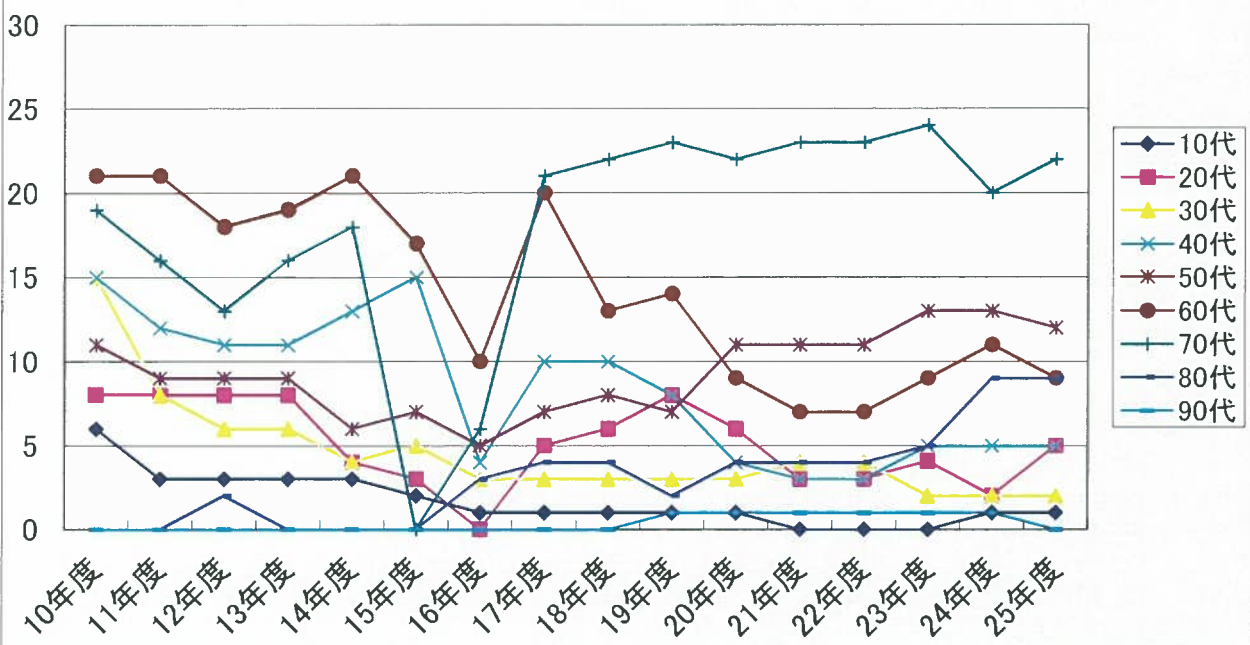
海女漁の継承



輪島年代別操業者数



舳倉島年代別操業数



資料① 漁獲量、平均単価

水揚数量・トン

単価・円/kg

年度	アワビ		サザエ		イワガキ		エゴ		モズク		塩蔵ワカメ	
	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
S56	21	3,806										
S57	26	3,922										
S58	39	3,535										
S59	39	4,170										
S60	31	4,333										
S61	24	4,705	24	1,214								
S62	15	5,110	84	1,061								
S63	21	5,646	179	912								
H1	10	7,323	137	1,114								
H2	10	8,449	101	1,326								
H3	9	8,488	52	1,426								
H4	9	9,569	56	1,368								
H5	8	9,766	92	1,126								
H6	4	10,073	120	1,047								
H7	5	9,204	103	1,070								
H8	7	9,234	92	945								
H9	9	9,028	169	801	48	446	23	1,414				
H10	6	9,477	349	793	78	425	21	4,484				
H11	5	9,663	312	705	219	315	1	3,351	70	690		
H12	5	9,078	169	830	264	307	28	4,464	12	354		
H13	7	8,586	142	810	424	239	6	3,087	146	418		
H14	4	8,017	175	761	304	214	5	6,407	189	428		
H15	3	9,856	245	687	360	234	1	5,558	177	508		
H16	3	8,919	260	638	439	226	1トン未満	10,490	27	613		
H17	4	8,412	224	688	384	185	4	7,785	149	534		
H18	4	7,759	193	650	178	315	30	4,521	25	654		
H19	4	7,938	170	629	201	273	3	11,188	38	672		
H20	4	7,101	183	577	159	266	3	7,301	350	515		
H21	5	7,311	163	696	140	257	1トン未満	10,527	101	530	10	702
H22	3	7,376	170	574	177	324	4	6,669	30	526	17	723
H23	7	6,709	167	580	146	331	7	4,368	19	721	41	750
H24	8	6,105	134	670	168	368	10	1,976	101	600	29	796
H25	6	6,454	143	665	116	373			63	536	45	871

資料②

種苗放流実績

単位・千個

	アワビ	石川県	他県	サザエ
S54	82			
S55	64			
S56	59			
S57	71			
S58	71			
S59	63			
S60	60			
S61	70			
S62	60			
S63	60			
H1	50			
H2	69			200
H3	131			150
H4	96			180
H5	100			200
H6	90			200
H7	94			200
H8	90			200
H9	115			200
H10	92			150
H11	86			0
H12	92			325
H13	79			360
H14	60			360
H15	92			390
H16	50			490
H17	34			125
H18	12			119
H19	4			87
H20	48	38	10	99
H21	78	48	30	105
H22	78	48	30	105
H23	69	49	20	106
H24	90	60	30	106
H25	45	45		52

藻場保全活動

平成24年度水産多面的機能発揮対策事業

(輪島市名舟地区)

①食害生物の除去

実施回数 3回

実施人数 延443名

駆除成果 ウニ 1,300kg 約32,500個

クボガイ 80kg 約8,000個

②海岸線清掃

実施回数 2回

実施人数 延74名

除去成果 集積量790kg

平成25年度水産多面的機能発揮対策事業

(輪島市名舟地区および光浦地区)

①食害生物の除去

実施回数 6回

実施人数 延869名

駆除成果 ウニ 3,000kg 約75,000個

クボガイ 490kg 約49,000個

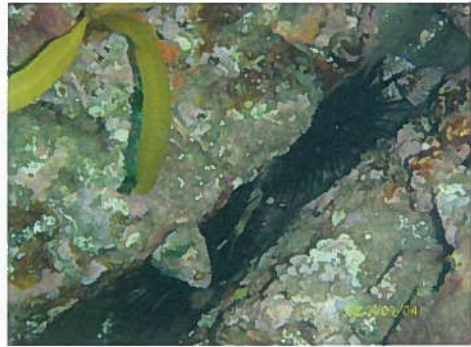
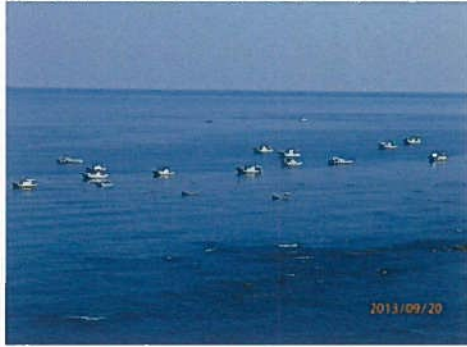
②海岸線清掃

2回 延100名で実施予定

アワビ放流写真



藻場保全活動写真(食害生物の除去)



MEMO
